

# 幼児教育コーディネーター概論

## 第4講 「「教えないで学べる学習」という新たな学び」

久世 均(岐阜女子大学)

# 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

## 【目的】

「インストラクショナルデザイン」や「教えないで学べる」学習環境は、キャロルの学校学習の時間モデル（2）の授業の質を高め、授業理解力を助け、学習機会や学習持続力を高めるための手法であり、学習環境でもある。「教えないで学べる」ためには、これらの手法や環境を整備することによって実現するものであり、学習者の学ぶ意欲を促し、自律的に継続して学ぶ力をつけていくことが重要である。

## 【学習到達目標】

- 「教えないで学べる」とはどのようなことは具体例を挙げて説明できる。
- 「教えないで学べる」という新たな学びの設計ができる。

# 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

$$\text{学習率} = \frac{\text{学習に費やされた時間} \\ \text{Time Spent}}{\text{学習に必要な時間} \\ \text{Time Needed}}$$

図4-1 J・B・キャロルの学校学習の時間モデル（1）

# 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

$$\text{学習率} = \frac{\text{学習機会} \times \text{学習持続力}}{\text{課題への適性} \times \text{授業の質} \times \text{授業理解力}}$$

図4-2 J・B・キャロルの学校学習の時間モデル (2)

# 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

## 2. 「教えないで学べる」学習環境

- ① クラウドコンピューティング (cloud computing)
- ② 電子書籍 (デジタル教科書)
- ③ フィールドワーク
- ④ e-ラーニング (e-Learning)
- ⑤ eポートフォリオ (e-Portfolio)
- ⑥ ラーニング・コモンズ (Learning Commons)

# 課題

1. J・B・キャロル（Carroll）の学校学習の時間モデルについて説明しなさい.
2. 「教えないで学べる」学習環境について具体的に説明しなさい.
3. 「教えないで学べる」研修を実現するための手立てを考えなさい.

# 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

## 【目的】

「インストラクショナルデザイン」や「教えないで学べる」学習環境は、キャロルの学校学習の時間モデル（2）の授業の質を高め、授業理解力を助け、学習機会や学習持続力を高めるための手法であり、学習環境でもある。「教えないで学べる」ためには、これらの手法や環境を整備することによって実現するものであり、学習者の学ぶ意欲を促し、自律的に継続して学ぶ力をつけていくことが重要である。

## 【学習到達目標】

- 「教えないで学べる」とはどのようなことは具体例を挙げて説明できる。
- 「教えないで学べる」という新たな学びの設計ができる。

# 幼児教育コーディネーター概論

## 第4講 「「教えないで学べる」という新たな学び」

久世 均(岐阜女子大学)